

PAZ圏内の観光客及び民間企業の従業員の数

- PAZ圏内の観光施設における日間入場見込み人数は680人程度、民間企業(従業員30人以上)は10社(約740人)存在。

<PAZ圏内の観光施設の状況>

地区名		施設	入場見込人数(人)
福井県	高浜地区	城山公園	499
	内浦地区	五色山公園	94
			計 593人
京都府	松尾地区	松尾寺	90
			計 90人

※福井県については入場ピーク時(8月)の入場者数を基に算定

※京都府については平成25年の年間実績を基に算定

[合計] 683人

<PAZ圏内の民間企業(従業員30名以上)の状況>

地区	民間企業	従業員数(人)
高浜地区	飲食料品小売業(2社)	81
	家具・装備品製造業(1社)	78
	医療業(1社)	137
	社会保険・社会福祉・介護事業(1社)	62
合計		358

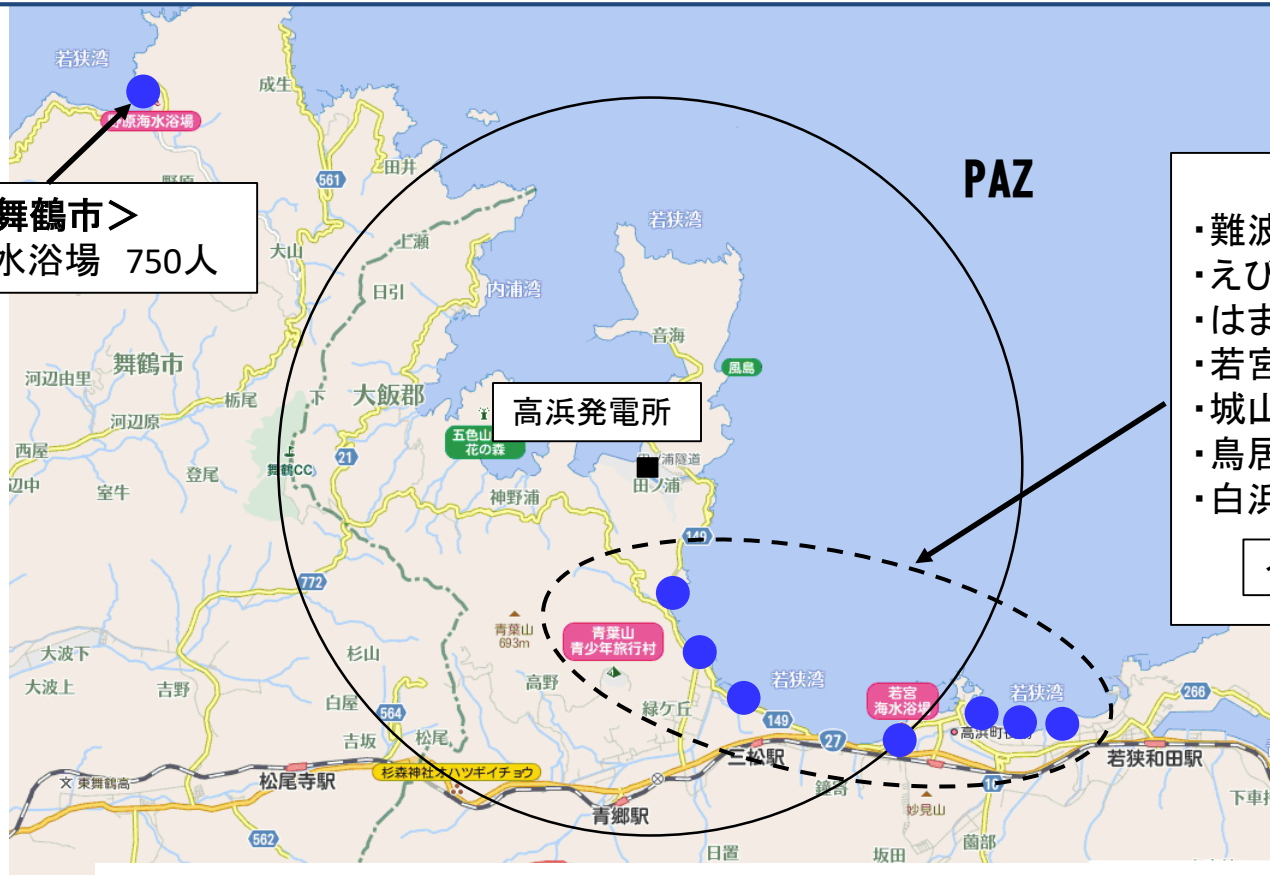
地区	民間企業	従業員数(人)
青郷地区	総合工事業(2社)	90
	家具・装備品製造業(2社)	75
	その他の事業サービス業(1社)	220
合計		385

合計: 10社 743人

(従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難)

PAZ圏内の海水浴場及び入場者の数

- 高浜町ではPAZ圏内に海水浴場が7か所あり、平成26年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約5,350人。
- 高浜町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成26年度観光客入込調査高浜町)
- 舞鶴市ではPAZ圏に準じた避難を行う地域に海水浴場が1か所あり、1日あたりの想定最大入込客数を約750人と想定。



＜舞鶴市＞
・野原海水浴場 750人

＜高浜町＞	
・難波江海水浴場	500人
・えびす浜パーク	300人
・はまなすパーク	1,000人
・若宮海水浴場	400人
・城山海水浴場	1,000人
・鳥居浜海水浴場	350人
・白浜海水浴場	1,800人
合計	5,350人

※ 野原海水浴場の想定最大入込客数は、同海水浴場の1日あたりの平均入場見込人数約150人に、高浜町の海水浴場における、一日あたりの最大入込人数と平均入込人数との比率を乗じて試算。

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約1,250人分:バス27台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

	想定対象人数 [※]	必要車両台数	備考
自家用車での避難ができない住民	111人	3台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料P42】
観光施設から避難する一時滞在者	約593人	13台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車 両台数は減少【資料P43】
海水浴場から避難する一時滞在者	約535人 (5,350人×0.1)	11台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約5,350人の うち、約9割が自家用車で訪問して いる(『平成26年度観光客入込調 査 高浜町』)ことを踏まえ、その1 割を想定対象人数として算入。 【資料P44】
合計	約1,239人	27台	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、福井県丹南地方たんなんのバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		27台	
(B) 確保車両台数		計27台	
確保先	バス会社[福井県丹南地方] <small>たんなん</small>	26台 [※]	保有車両台数 バス178台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台

※ 福井県原子力防災訓練(平成26年度)の実績を参考に、バス会社保有台数のうち1/4程度の出動を見込む

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約226人分：バス10台。

	想定対象人数 [※]	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	62人	6台	各地区にバス1台を配車 1台当り45人程度の乗車を想定 全住民の1割が自家用車で避難でき ないと想定【資料P42】
観光施設から避難する一時滞在者	約90人	2台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車両 台数は減少【資料P43】
海水浴場から避難する一時滞在者	約75人 (750人×0.1)	2台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約750人のう ち、約9割が自家用車で訪問してい る(『平成26年度観光客入込調査 高浜町』を引用)と想定し、その1割 を想定対象人数として算入。 【資料P44】
合計	約227人	10台	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車
もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市まいづるしが保有するバスのほか、舞鶴市内まいづるしのバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		10台	
(B) 確保車両台数		計10台	
確保先	<small>まいづるし</small> 舞鶴市	3台	保有車両台数 バス3台
	<small>まいづるし</small> 舞鶴市内のバス会社	6台	保有車両台数 バス79台(乗合含む) タクシー95台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請